

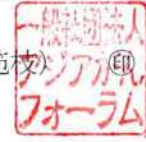
2022年 8月 1日

公益社団法人富山県医師会長 殿

申請者 団体名 一般社団法人アジアがんフォーラム

代表者 河原 ノリエ(川原範枝)

連絡先 080-5039-7646



後援名義使用申請書

下記内容の事業を開催しますので、富山県医師会の後援名義使用を申請いたします。

記

事業の名称

開催年月日 2022年 11月 13日(日) 10:30 ~ 17:00

開催場所 富山県砺波市庄川温泉郷「リラの木のいえ」

主催 一般社団法人アジアがんフォーラム

共催 なし

事業の概要・プログラム等の分かる資料を添付

▼ 医師会チェック欄(この欄は記載されなくて結構です)

a	本会の理念・目的に照らし必要と認められるもの	
b	公益性がある、もしくは学術的に広く有益であると認められるもの	
c	営利を目的とする事業の利益もしくはその宣伝とならないこと	
d	営利を目的とする企業等が主催している、もしくは実質的に主催している可能性がある判断される場合には認めない	
e	特定の医療機関・団体等の利益もしくは宣伝とならないもの。他の医療機関・団体等の不利益となる可能性がある場合には認めない。医療機関等については会員医療機関以外は認めない	
f	開催者と本会の間に利益相反上の問題が認められないもの	
g	主催者(代表者もしくは責任者)が富山県医師会員である	×

開催概要

名称: 地域でがんを生き延びるシンポジウム

～がんを公言でき、地域コミュニティで支え合う社会へ～

開催日: 2022年11月13日(日)10:30～17:00

場 所: 富山県砺波市庄川温泉郷「リラの木のいえ」

主 催: 一般社団法人アジアがんフォーラム(UICC 日本委員会メンバー)

後 援: UICC-ARO、UICC 日本委員会、外務省、厚生労働省等

特別協賛: MSD 株式会社等

協 力: トヨタ財団、松村謙三顕彰会、庄川峡観光協同組合等

※本シンポジウムは、日中国交正常化 50 周年認定事業とする。

<プログラム>

プログラム	テーマ	主な登壇者
アジアで がんを生き延びる	がん国際連携がもたらす 未来とは？	野田哲生(UICC 日本委員会委員長) 浅沼一成(厚労省危機管理・医務技術総括審議官) 横井裕(前中国駐箚特命全権大使) 野崎慎仁(WHO 西太平洋地域事務局) など
地域で がんを生き延びる	「地域を支える」 地域社会とがん、地域の がんは誰が支えるのか？	野田哲生(UICC 日本委員会委員長) 中金斉(国立がん研究センター理事長) 稲垣晴彦(北陸コカ・コーラボトリング株式会社会長) 川合声一(日の出屋製菓産業会長) など
	「地域を耕す」 がんを生き延びるために はどんな地域が望ましい のか？	田島和雄(UICC 日本委員会名誉会員) 垣添忠生(日本対がん協会会長・国立がん研究センター名誉 総長)
	「地域を繋ぐ」 がん医療を届けるための アクセス改善の方策と は？	坂野哲平(株式会社アルム 代表取締役社長) 大割慶一(KPMG ハルスケアジャパン株式会社 代表取締役) など

事務局: 株式会社 PCO 担当: 千田、飯野

連絡先(TEL) 076-429-5708

2022年8月1日現在

以上